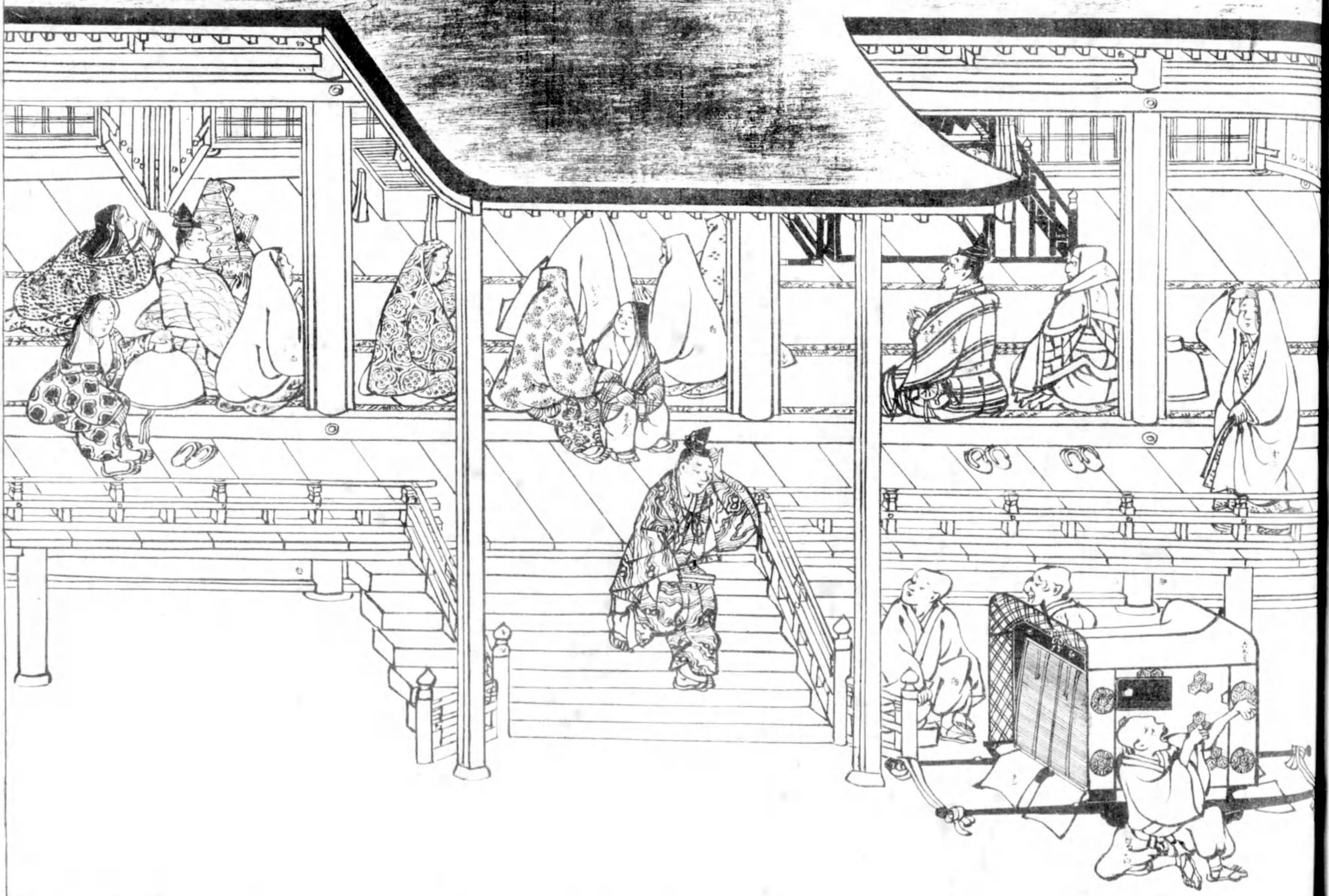


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

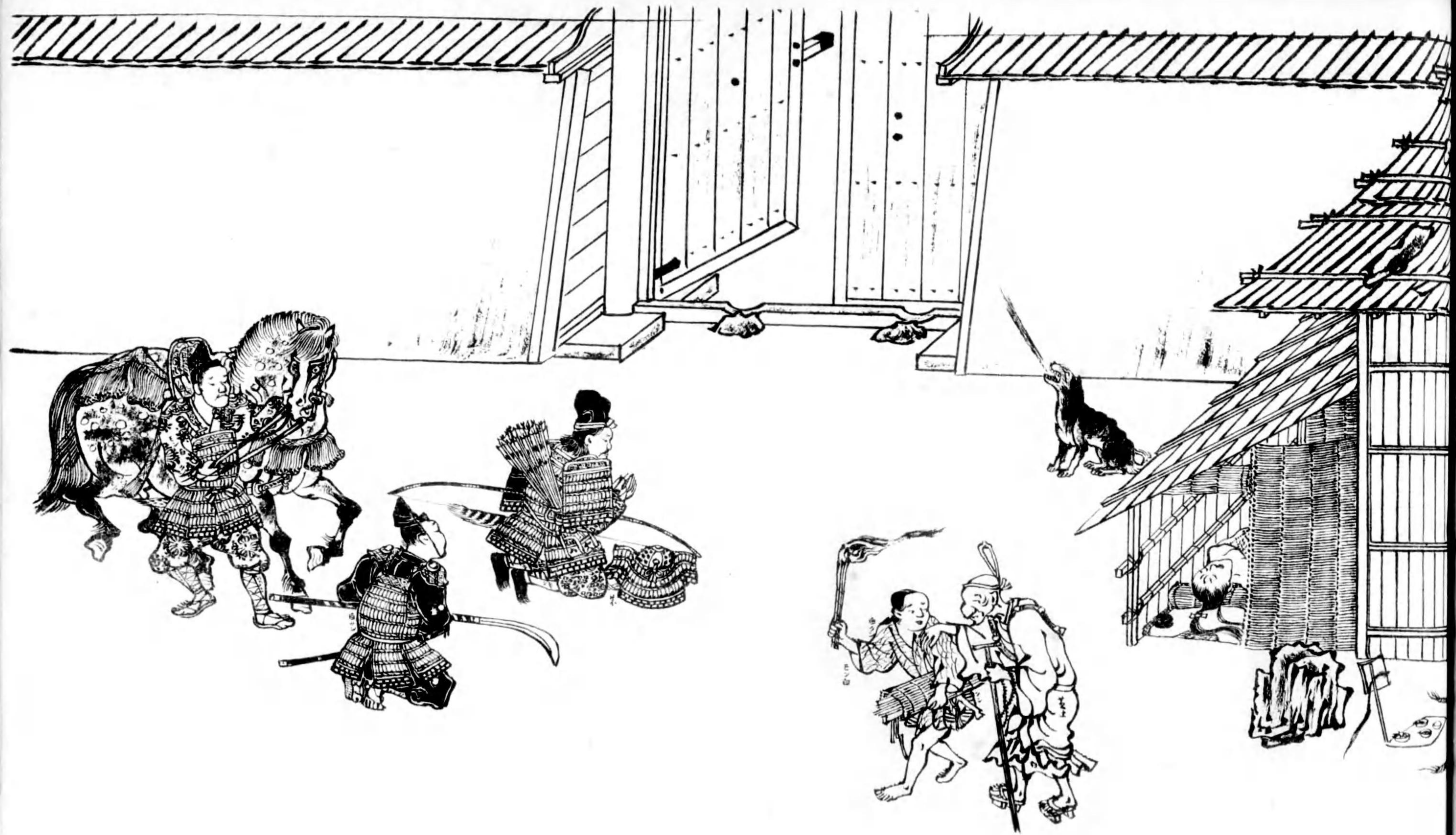
春日權現驗記繪卷

達保乃ころる京小ある層公嵯峨れ釋加
小由いわくくくく原白まゐるくあわけ
わつても西乃別當仁雅法眼をして導師
これたふ我かたるわらわの身無くも南
井小乃道よすん侍し程小いね小春目
系し縁小やまて在意のくちかくを
をのつる春のほうやかかをわく我なけ
井きるかきよ着れうらう大明神志し給
やう我をもまふらう暖家の尺迄き小あわ
なちるくかきこわのくくはくはくは
言たよあんとらあくしよあわくくくく
して祈請をしたまふとくくくく信現
尺迄出てたりし尺迄とくくくくすく
くをうとすくくくく乃書達保六年二月
十の尺迄き出て仁雅法眼全首を
申上げ

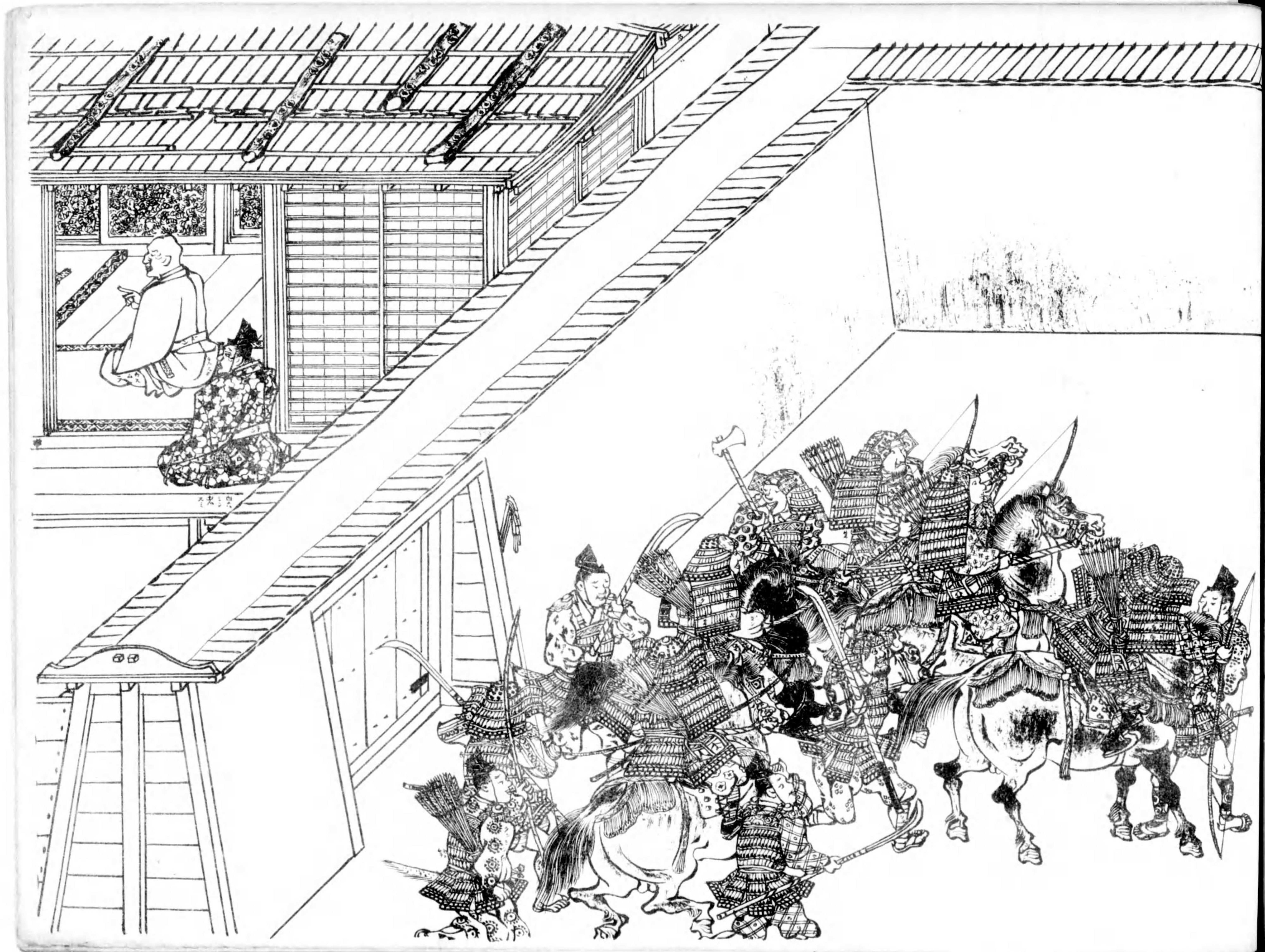
禪南院範雅僧都カ養父大舍人入道トふとの
う乃乃人小トしトきトわけの侍也あるとて天下

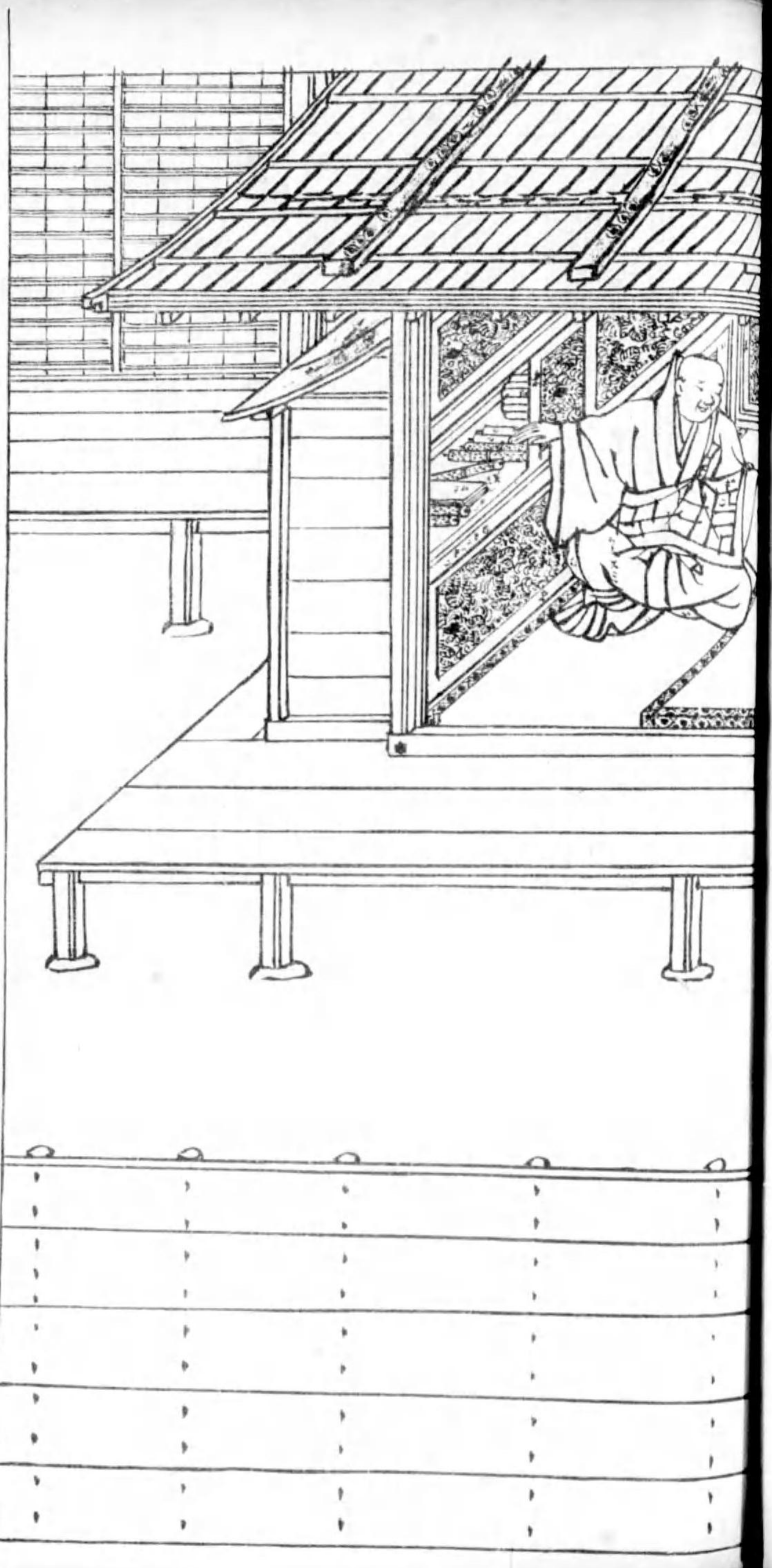


禪南院範雅僧都養父大舍人入道ふとのう乃乃人小しきわけの侍也あるとて天下



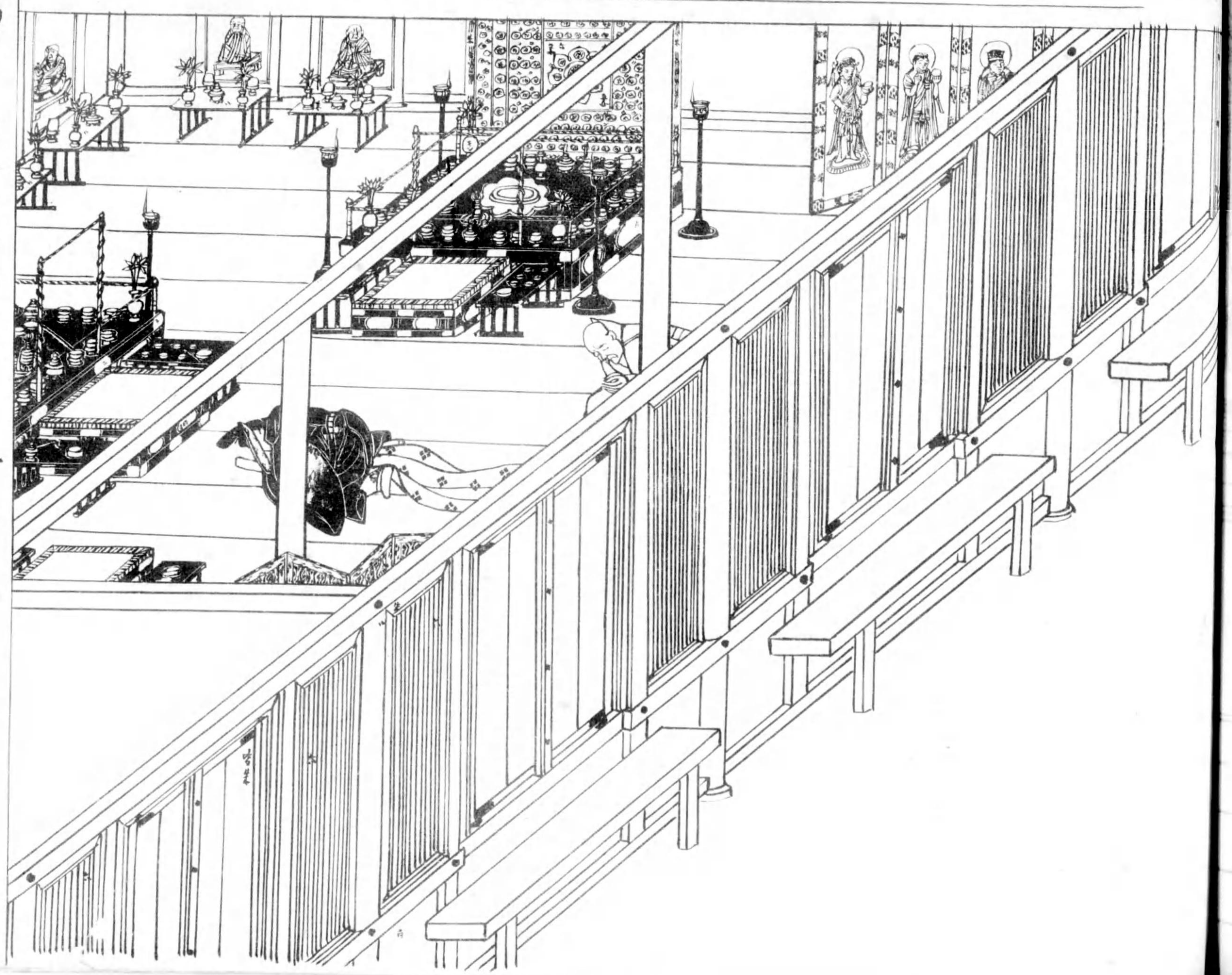
Handwritten Japanese text, likely bleed-through from the reverse side of the page. The characters are faint and difficult to read, but appear to be vertical columns of text.





與福古増利僧都^冬紀伊國名草郡乃人戒
行珠を三^りす^は惠崇燈を^かり^て顯密^成西學
してい^た格實^成や^すま^は一^は上階乃^東聖
またけの道場を^はう^けて^を乃^く聖教
道具を^安置^して春日^に大明神^成勅^請し
を^てま^あつ^わく^決む^じと^なり^し志^す乃^めむ^し
神人^室乃^こら^し降^臨し^終て^は乃^く言^の
壇場を^おし^て貴^し密教^法相^乃学^堂
お^して^は乃^く顯^教との^り乃^く城^小
乃^わく^な乃^らん^の推^摩會^探是^乃此^乃
と^まり^乃乃^く乃^く乃^く

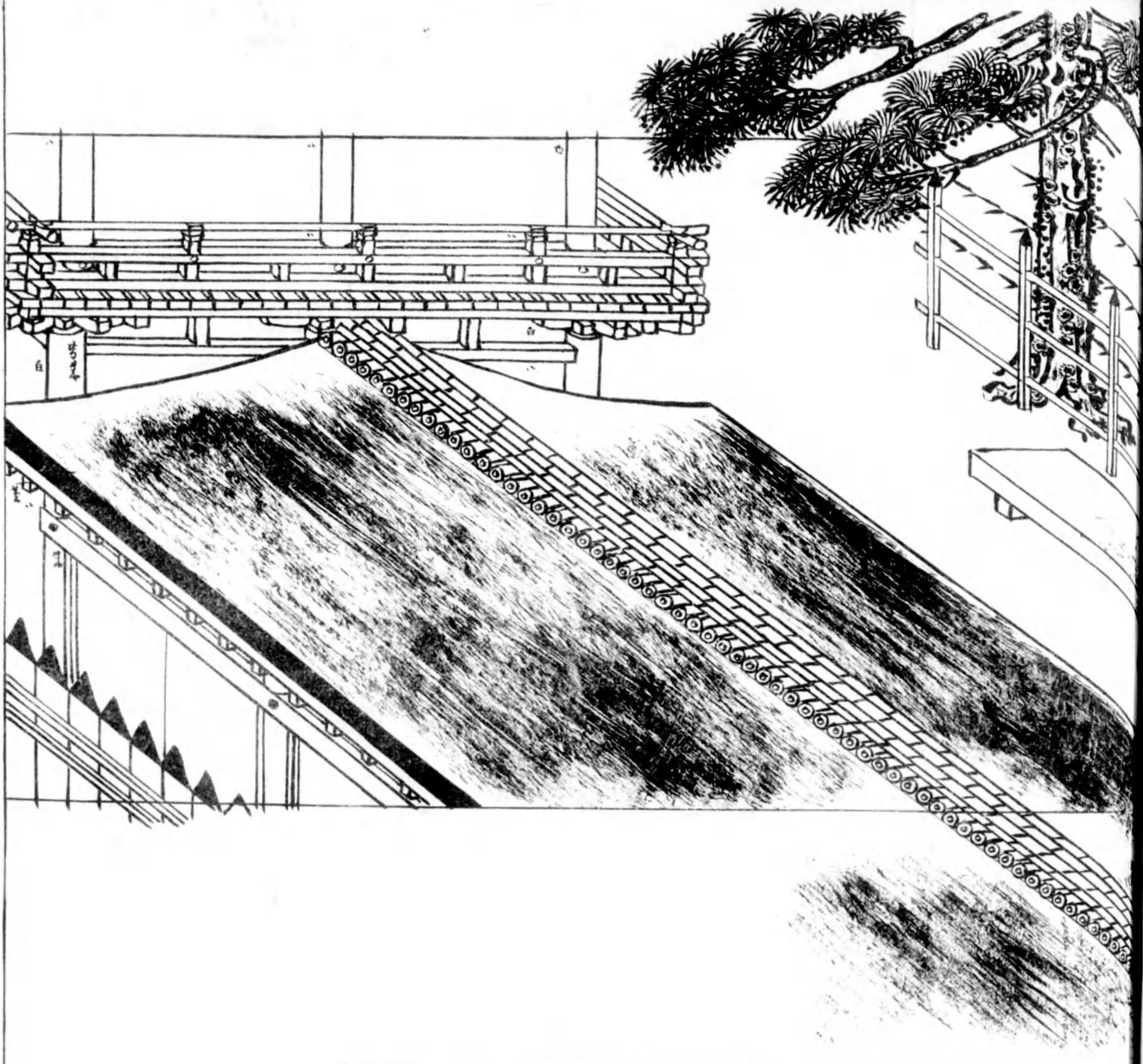
興福寺乃壹和僧都ハ修學ありて木智
 多し其のあつたは小舎の世我ののりて双心
 小舎のあつたは小舎の世我ののりて双心
 小舎のあつたは小舎の世我ののりて双心



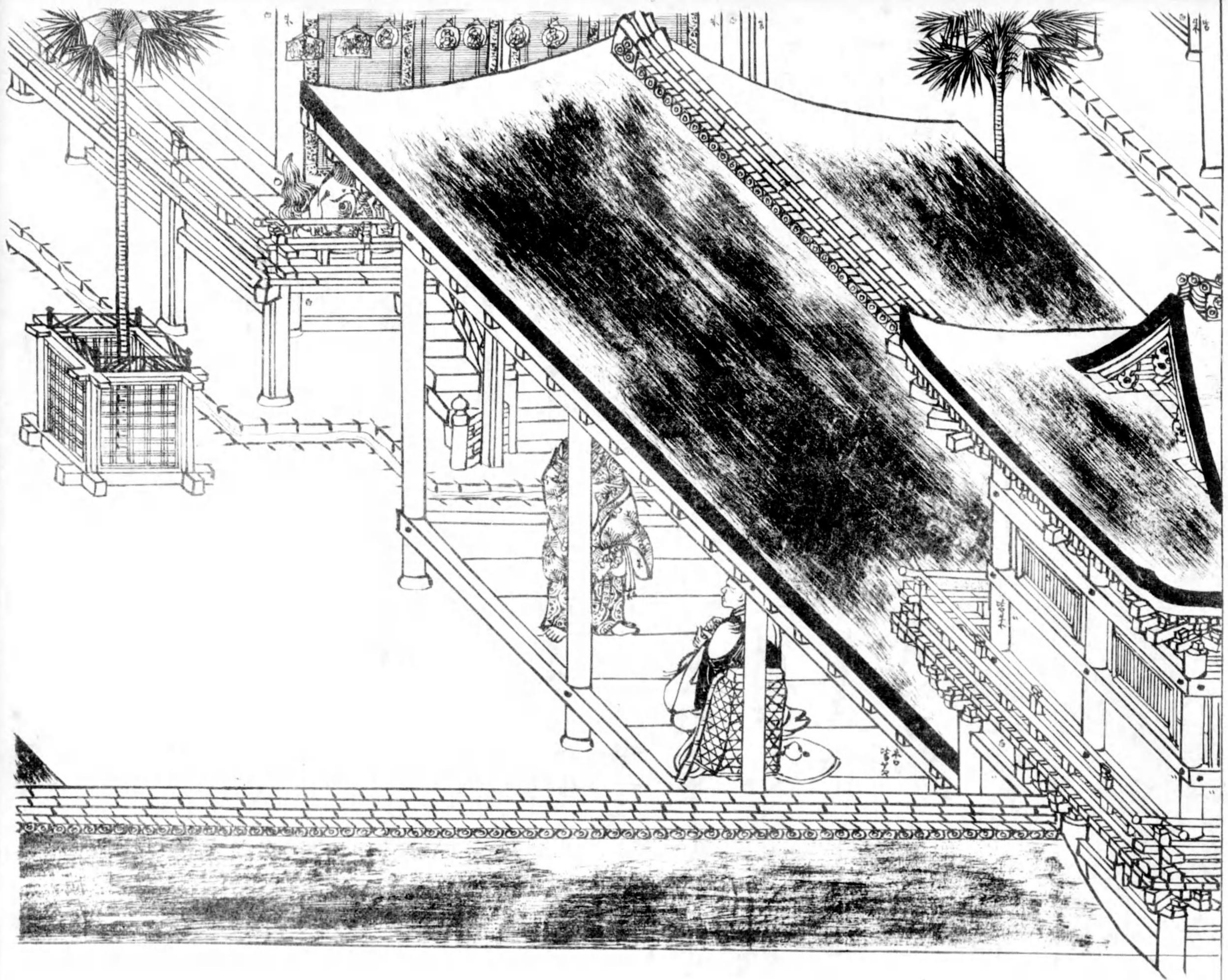
講師をのろえ申す方小思乃が... 祥地
 ぶんふえいしよげを... 業前世の業
 可... 思の... 乃... 此
 かくたはえ... 本も論議の
 たり... 教終行の方となす... 思
 孝と... かく... 世次本き... 経
 とも竹の扇小入て... 三面乃信坊
 一、四所乃靈社... 今六混
 乃法施を... 中... した
 やる... 一... した
 う... 友... 思... ね
 ... した
 ... した
 ... した



Handwritten notes in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.



尾張乃びんえりる小つまね志お毛のひし城
うゝてて勢田社ほほいつわて志んく法施を
きむらる程こくろ方翠東そく堂和をけりて
いふわうあんちうゝみをもくもとあわて中
ち成たし進てまゝ一里乃習うゝんよゝこぬ
物あし無こもをわかしこふかあゝぬら此世の身
か甲信奥國志の城つとたよゝと堂うれを

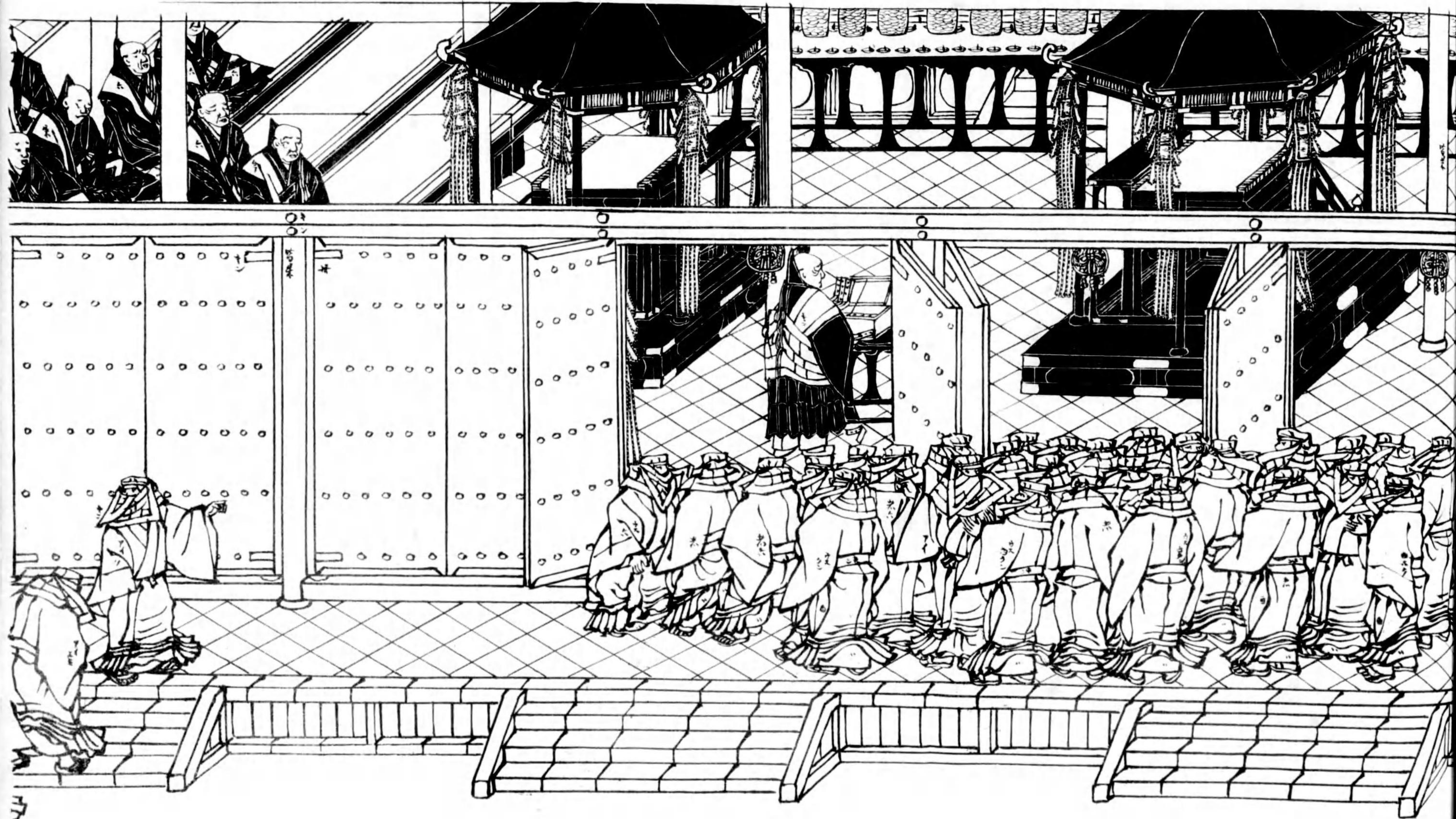


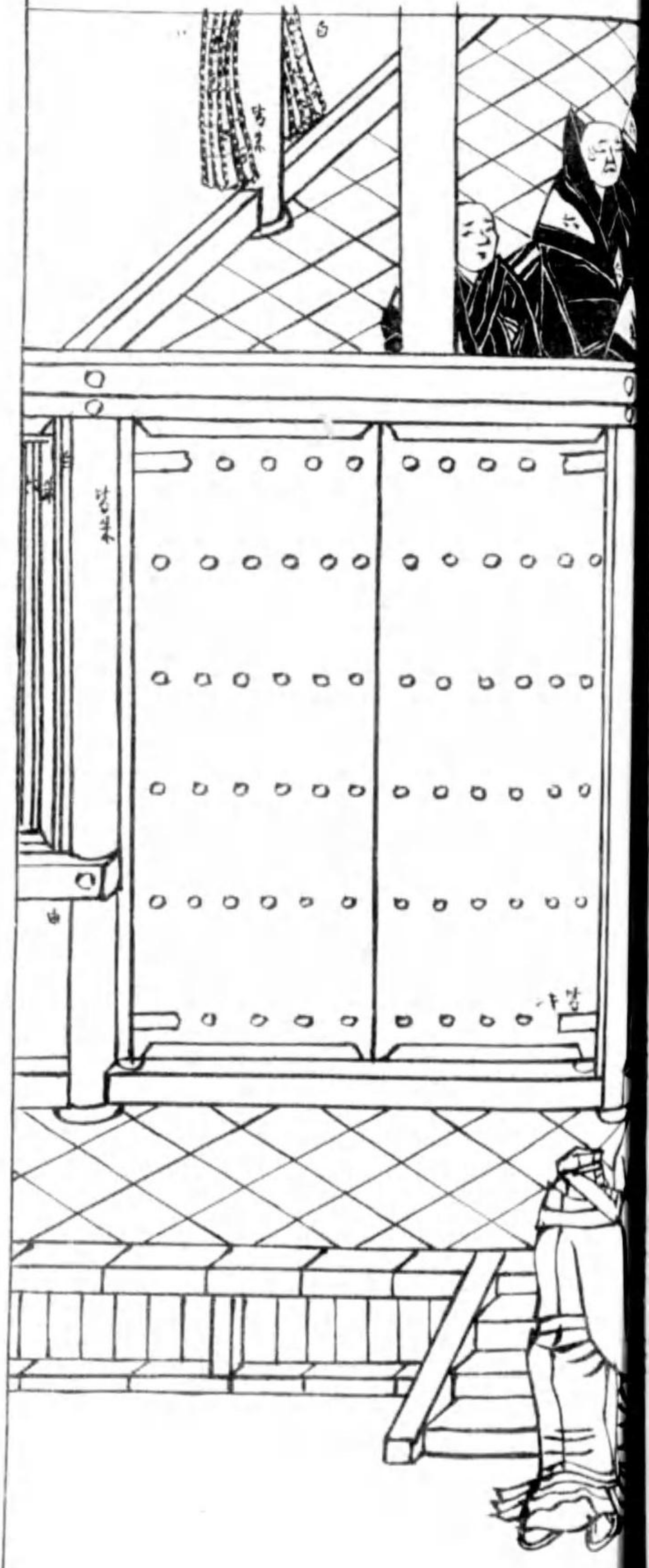
としてあつらせ給ふに其の意和つたしけり
 といふたならぬ湯作の海を行くてしりま
 ぬのかお思ふ乃ち此のさし海師をよけて
 曰く乃湯事あたにも礼託といふはわけを言

手紙の文は...
 ...
 ...
 ...

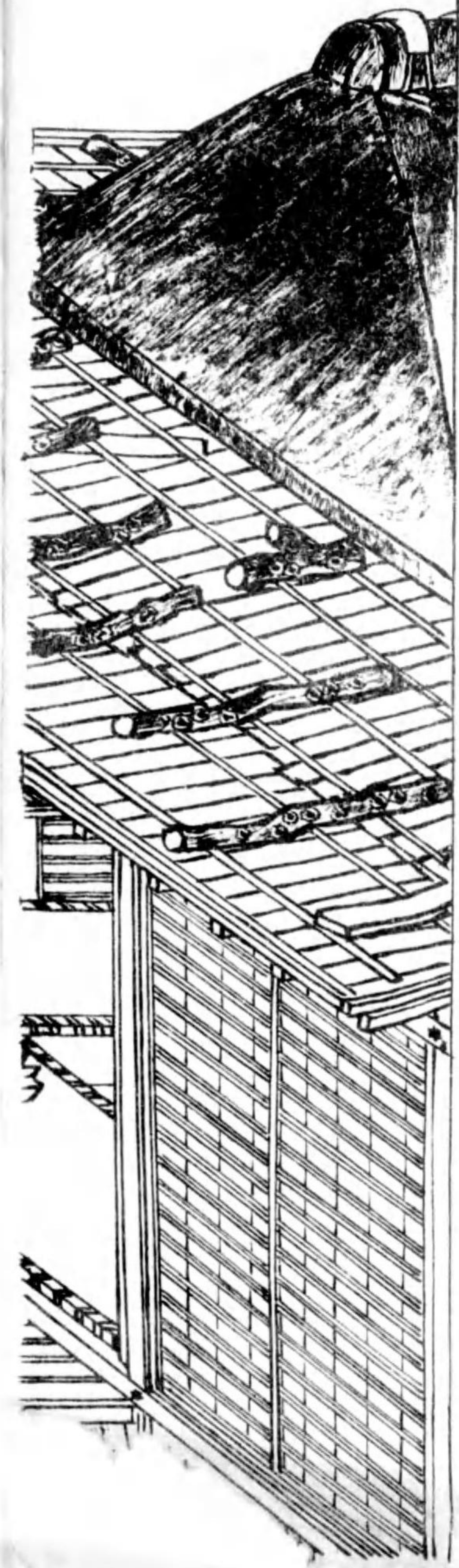


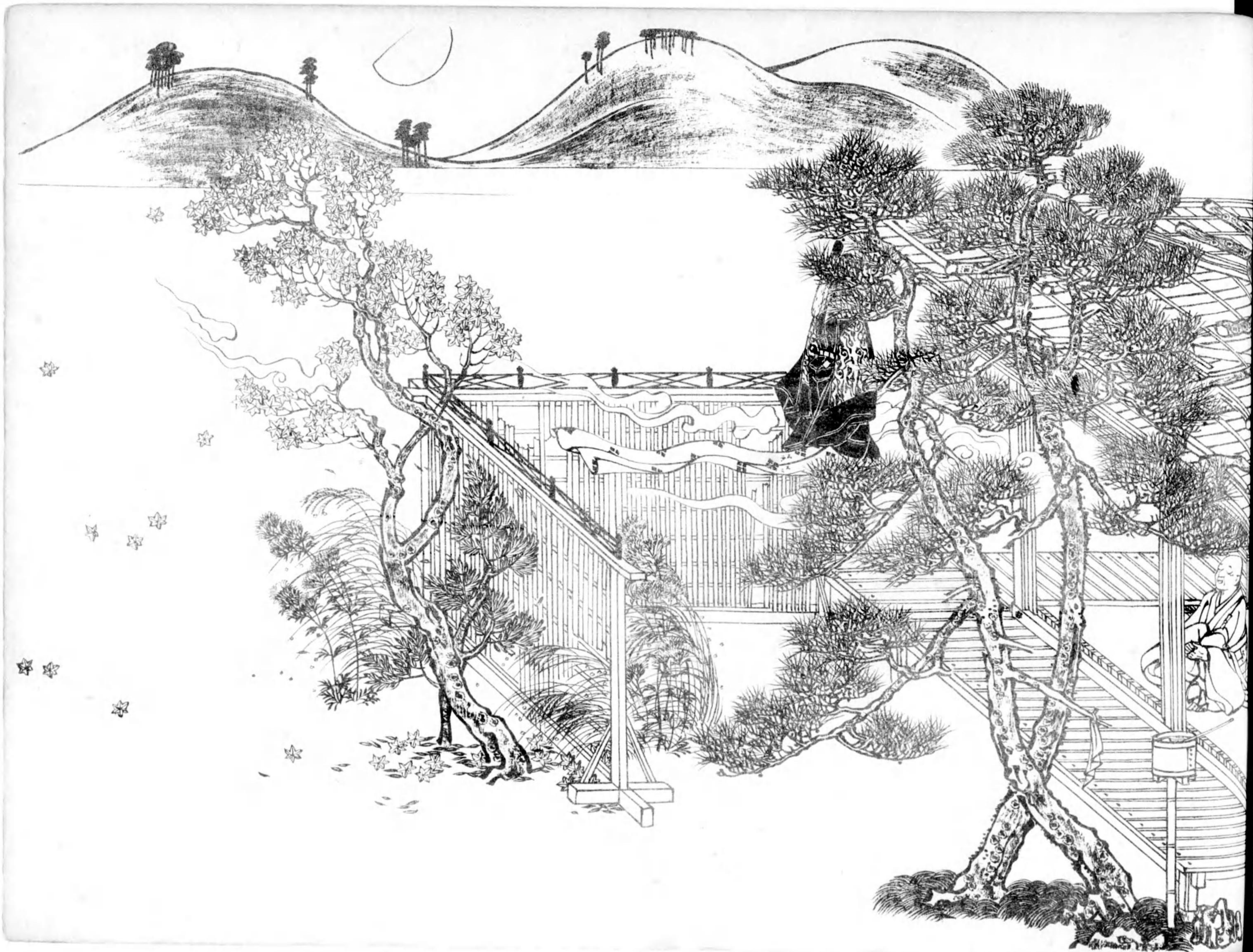
東大寺乃法藏僧都云法相宗此人也維摩會
 聖教を勤はしけるは善學の事なりて
 眞福も春日社も備うて法よりかゝるは遊業乃
 とす短冊式をとりて一枚をおわすの標是を
 少一紙のつゝも事有らなげりハ章の文をのび
 けも所定の義科をすんでこの文がしきし物
 すていよもねまわさし是もたはまらざるや
 現文の漢書紙酒すしとまふあやしみがら
 同巻しけわゆて本章の現文を勤しハ烟寫
 してあわ後小春日大明神ゆゑのうらよれ
 目末ハ乃文をくりていけたまふいふわすれ
 らわ後少東大寺聖教ハ遊業の日かふら法
 所主乃中ふ紙をいふまよひをいふにてあ
 らわけり





昔與福寺僧住寺れ縁かけく雨はまは方
 下しもらんやだ思けらふあふとよは秋夜聚
 して月光清朗か巴里し無心成すして
 春日の心空ふ前れあわも然観念一ま
 なんぞ強きうけらよゆ免ううて
 大明神けたのまはすうのあてかけらせ終
 此を我ををしあしをわし無心成すく物我
 奪ふ志りあふあん人もか思ぬし無心成
 一子乃しこたあはほせあまたたか
 作らし計し也







定價金拾五圓
 大正九年十二月廿五日印刷
 大正九年十二月廿五日發行
 東京府豊多摩郡武蔵野市三軒巻十五番地
 發行所 田中有美
 東京市神田區神町壹丁目九番地
 印刷者 小澤敬男
 東京府豊多摩郡武蔵野市三軒巻十五番地
 印刷所 田中文库
 電話二六二七六番
 東京市京橋區銀座壹丁目拾番地
 發行所 東京美術館
 東京市神田區三條南入
 發賣所 芸艸堂
 東京市本郷區湯島壹丁目壹番地
 芸艸堂支店
 東京市下谷區下谷三丁目

終

